

としよかん通信

2023年 あき 号

久留米市立中央図書館 編集／発行

 <https://www.city.kurume.fukuoka.jp/1060manabi/2050library/>

 library@city.kurume.fukuoka.jp

 326号

中央図書館（石橋文化センター内）

住所 久留米市野中町970-1
電話 0942-38-7116
FAX 0942-38-7183

六ツ門図書館（くるめりあ六ツ門5F）

住所 久留米市六ツ門町3-11
電話 0942-39-5620
FAX 0942-27-7281

秋がやってきました!!!

読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋、芸術の秋
みなさんは、どのような秋を過ごしますか？

講演会のお知らせ

◆児童文学講演会 『かこさとしの世界』◆

日時：10月8日（日） 13:30開演

場所：中央図書館 3階視聴覚ホール

講師：鈴木 万里氏（加古総合研究所 かこさとし氏の長女）

定員：100名（先着順要申込）

問い合わせ先：久留米市立中央図書館 児童室

電話・FAX・または直接カウンターまで

電話：0942-38-7116 FAX：0942-38-7183

データベースって知っていますか？

簡単に言うと『沢山の情報を集めて、検索しやすくし、情報を得やすくしたもの』が、データベースです。

中央図書館には8つのデータベースがあります。

- 新聞記事の検索・・・西日本新聞記事データベース・朝日新聞記事データベース
- 官報記事の検索・・・官報情報検索サービス
- 判例、法令および法律雑誌記事の検索・・・TKCローライブラリー
- 経営情報（経営相談、社員教育、ビジネスマナー、書式、朝礼のスピーチ例等）の検索・・・JRS経営情報サービス
- ビジネス総合情報、日経関連新聞雑誌の検索・・・日経テレコン21
- 歴史的音源（音楽、演説、落語等）の検索・・・れきおん
- 図書、雑誌、古典籍、論文の検索・・・国立国会図書館デジタルコレクション（※要利用者カード）

ぜひ、ご利用ください♪

詳しくは、中央図書館2階 調査研究室まで

一般室より 新着案内

88歳、しあわせデジタル生活	若宮 正子/著	中央公論新社
どうせ死ぬんだから	和田 秀樹/著	SBクリエイティブ
英国ヘンな旅先案内	清水 晶子/著	平凡社
オッス!食国	小倉 ヒラク/著	KADOKAWA
ワースト添加物	中戸川 貢/著	ユサブル
悪魔のレシビ卵伝説	ロー・タチバナ/著	EDITORS
フリマアプリで遺品整理はじめました!	桐丸 ゆい/著	ぶんか社
歳月	鈴木 敏夫/著	岩波書店
イラストで楽しく身につく韓国語のニュアンス図鑑	じんす先生/著	KADOKAWA
わたしたちに翼はいらない	寺地 はるな/著	新潮社
【YA】5分後に心揺さぶる物語	山川 桃河/著	文芸社
【YA】グッゲンハイムの謎	シヴォーン・ダウド/原案 ロビン・スティーヴンス/著	東京創元社

『ただいま』

豊福まきこ/作
小学館



ポンちゃんは、あらいくまのぬいぐるみです。ある日、いつもはなかよしのきょうだいポンちゃんをとりあってけんかになりました。ふたりにひっぱられて、しましものすてきなしっぽはちぎれてしまいました。ふたりとなかよく遊びたかったポンちゃんは、悲しくなってしまう。「ほくがないほうがいいのかな…」おもちゃが大好きな子どもたちに読んでほしい絵本です。

『ちょっとだけのおんぴりするひ』

ウェンディ・メドゥール/文
ダニエル・イグヌス/絵
やまもとみき/訳
化学同人



「いそいで!」と何かするたびにいわれ、ティシャはあさからいそいでばかり。とつとつがっこうがえりに、おかあさんに「いそぎましょ。」といわれたティシャは、なきだしそになってしまう……
この絵本を読んで、あなたもティシャといっしょにのんびりしてみませんか?いつも見ている世界も、ちょっとだけ違って見えるかもしれません。ゆったりとした時間が心地いい、子どもにも大人にもおすすすめの本です。

図書館員が選んだ こどものあたららしい本

『まこが、おねえちゃんになった日!』

かわしまえつこ/作
高橋和枝/絵
童心社



まこはもうすぐおねえちゃんになります。まこが話しかけると、あかちゃんはママのおなかのなかでもこっこっと動きます。まこはあかちゃんが生まれてくるのが待ちきれません。ところがきゅうにあかちゃんが生まれそうになり、病院で待っていると、まこはママのおなかの中に……。まことあかちゃんの不思議な出会いの物語です。

『錦鯉を創る 新潟から世界へ』

松沢陽士/写真と文
小学館



この本には日本発祥の観賞魚「錦鯉」がどのような土地で誕生し、育てられていくのかが写真と文章でくわしく書いてあります。錦鯉は色や模様のちがいで、それぞれに名前がつけられるそうです。現在では海外での人気が高まり、アジアをはじめ、アメリカやヨーロッパなど40か国以上の国々に輸出されています。和田卓さんが育てた「ねず黄金」と「孔雀黄金」の間に生まれた錦鯉「麒麟」が本当に美しいので、ぜひ読んでみてください。

一般室展示

9/29~10/25

- ・おすすすめ本発表
- ・芸術の秋を楽しもう

10/27~1/24

- ・芥川龍之介と美の世界
二人の先達-夏目漱石、菅虎雄

児童室展示

9/29~

- ・心が元気になる本
- ・かみさまがいっぱい!?
- ・読んでくれなきや
イタズラするぞ